

牧草と園藝



アメリカ農業研修スナッフ写真

III 牧草・飼料作物

札幌研究農場 山下 太郎



アカクローバ系統生検圃場（ウイスコンシン大学）
チモシーとの交互畦栽培を行ない、生産力及び競合性の検定が行なわれている。イネ科草ではスムーズブコムグラスの育種に力が入れている。



酪農家のアルファルファ草地（オレゴン州）
オレゴン州は秋～冬の気候が温暖で、ウイスコンシン州カリフォルニア州と並んで酪農が盛んである。写真は11月下旬の状況である。



アカクローバ品種比較圃場にて（ウイスコンシン大学）
Dr. Richard R. Smith（クローバ育種研究担当）に御案内いただき、クローバ類については採種量を高める生理形能的な研究が耐病性と並んで重要な育種目標になっている。



アカクローバ《ハミドリ》の採種圃場（オレゴン州）
オレゴン州は世界でも有数な牧草種子生産地帯である。《ハミドリ》はDEC D保証種子としてオレゴンステート大学より厳重な圃場検査、品質検査を受けており、又当社独自の現地検査、技術交換も行ない、優良種子の海外生産の軌道にのっている。



種子研究室に於ける発芽勢の検定

（アイオワステート大学）

純度検定、発芽（率）検定が中心で、大豆、ソルゴー、とうもろこし等、一年生作物については土壌を使った発芽勢の検定も行なわれている。この点がオレゴンステート大学と比較して優っており、地域性とも受とめられる。



ひまわりの栽培圃場

（ネブラスカ州）

短稈、多葉、耐病性のひまわりで、高カロリー飼料作物としての利用性が検討されている。